

「知事の基本政策」実現のための事業

「知事の基本政策」の実現に向け、県政改革を一層推進（歳入の確保、事業の徹底的な見直し等）するとともに、県民生活の安心・安全の確保（子ども医療費の無料化、医師や介護人材の確保等）と、県内経済の活力向上（産業振興、企業誘致、観光誘客、雇用対策、群馬のイメージアップ等）を図るための様々な施策を推進します。

予算額については、各目標を実現するために取り組む事業の予算総額です（再掲分を含みます）。また、予算事業のない目標については、「-」印を記載しています。

目標	予算額 (単位:千円)	主な事業 (予算を伴わない事業を含む。)	事業担当部局
もっと、県政の刷新を！			
【身近な県政】 県民の生活を重視した行政への転換を迅速に進めます。			
1. きびきび動ける県政にします。			
1	703,949	オンラインシステムなどの導入で、手続き業務のスピードアップを図ります。	自動車運転免許IC化・即日交付経費 ほか 企画部、健康福祉部、会計局、人事委員会、警察本部
2	12,363	NPOや民間企業との連携で、県民の声に素早く反応できる県政にします。	NPO・ボランティアサロンぐんま運営 ほか 生活文化部、健康福祉部、警察本部
3	-	硬直化した組織を大胆に改編し、効率よく風通しのよい県庁にします。	組織、定員見直しの実施 総務部
4	-	職員ひとりひとりが、やる気や能力を存分に発揮できる制度を設けます。	新たな人事評価システムの導入 総務部
2. 風通しのよい県政にします。			
5	252	カラ出張などの不祥事が二度と起きないよう、庁内の規律を厳しくします。	公益通報者保護制度運営 ほか 総務部、会計局
6	-	情報公開の制度（群馬県の情報公開度は全国37位）は、請求手続きを簡素化し、知事交際費等の透明化を図ります。	請求手続の簡素化等、知事交際費等の公表 生活文化部
7	-	現知事の退職金は約2億円。こんな無駄をなくすために、退職金制度は民間レベルまで引き下げる方向で見直します。	実施済み 総務部
3. これまでのハコモノ政策を転換します。			
8	-	施設の廃止・継続に関して、県民代表を含む第三者による諮問委員会を創設します。	公共施設のあり方検討委員会答申のフォローアップ 総務部
9	-	既存の赤字施設は、指定管理者制度を活用して効率的に再生を図ります。	県直営施設への導入の検討 総務部
4. 県の借金9,589億円の削減を進めます。			
10	22,534	所有地などの保有資産は、費用対効果を慎重に検討の上、可能な限り売却とします。	未利用地有効活用 ほか 総務部、企業局
11	40	計画段階にある公共事業については、採算性と有効性の両面から精査し直します。	計画段階の公共事業の精査 総務部
12	10,320	窓口業務など、委託可能なものは積極的に民間へ。県庁の業務コストを削減します。	県ホームページ管理業務の一部委託 ほか 総務部、企画部
13	-	プライマリーバランスの黒字化を堅持します。	実質的な交付税である臨時財政対策債除きて黒字を堅持 総務部

目標		予算額 (単位:千円)	主な事業 (予算を伴わない事業を含む。)	事業担当部局
【市町村との連携】 38市町村を全力で支援する、200万県民のための開かれた県政にします。				
5. 対立から融和へ、連絡体制を強化します。				
14	知事と各市町村長による全体会議を定期的開催し、対話不足を解消します。	550	市町村懇談会	総務部
15	定期的な職員の出向人事など、県庁と市町村の間での人的交流を促進します。	-	分かりやすい交流の枠組み作り ほか	総務部、警察本部
16	各市町村の行政能力を高めるため、情報提供や職員研修などの支援策を実施します。	47,487	職員派遣による実務研修 ほか	総務部、企画部、生活文化部、健康福祉部、環境森林部、教育委員会
17	広域にわたるインフラ整備においては、市町村の要望にしっかり耳を傾けます。	150,816	地域情報化推進 ほか	企画部、県土整備部
18	知事が県民の声をしっかり聞くためのシステムを、県と市町村との協力でさらに強化します。	-	一般広聴	企画部
6. 市町村の役割と責任を明確にします。				
19	市町村にできる限り権限や業務を移譲し、県は基本的にそのサポート役に徹します。	118,165	市町村への権限移譲の推進	総務部
20	移譲した業務内容に応じて、市町村には新たな交付金を給付します。	3,970	権限移譲推進特別交付金	総務部
21	権限移譲の範囲や進め方を協議する「群馬パートナーシップ委員会」を設置します。	-	ぐんま県・市町村パートナーシップ委員会の運営	総務部
22	県内での分権がスムーズに進むよう、さらに市町村合併を後押しします。	5,627	市町村合併支援 ほか	総務部
もっと、暮らしに安心・安全を！				
【医療と福祉】 救急医療体制の整備や子育て支援策などを幅広く実施します。				
7. 質の高い医療を実現します。				
23	24時間体制の救急病院を県内各地域に置き、救急搬送システムも整備します。	248,663	救急医療体制運営支援 ほか	健康福祉部
24	ドクターヘリによる搬送システム・医者の緊急派遣体制づくりに取り組みます。	212,612	ドクターヘリ運航経費補助 (H21.2 運航開始)	健康福祉部
25	小児科医・産婦人科医不足の解消に全力を尽くします。	163,491	医師確保対策	健康福祉部
26	県立病院の充実や大学病院との連携強化により、高度医療への対応を迅速に進めます。	5,515,813	県立病院運営 ほか	健康福祉部、病院局
27	ガンの早期発見やメタボリック対策、生活習慣病の予防など、県民の健康を守る新たな検診・治療体制をつくります。	201,355	がん対策・がん診療連携拠点病院機能強化 ほか	健康福祉部
8. 産みやすく育てやすい環境を整えます。				
28	子供の医療費無料は義務教育が終了する15歳までに拡大します。	3,641,701	福祉医療費補助(子ども医療費) (H21.10～ 中学校卒業までを対象に実施中)	健康福祉部
29	保育施設の増設や延長保育・夜間保育の拡充を図ります。	3,663,552	保育所等緊急整備事業 ほか	健康福祉部
30	育児休業制度が適正に運用されるよう、企業などへの指導を強めます。	4,036	育児いきいき参加企業認定	産業経済部
31	総合的な少子化対策として、「いきいき子育てサポートプラン」を立ち上げます。	18,601	総合的な少子化対策推進	生活文化部

目標		予算額 (単位:千円)	主な事業 (予算を伴わない事業を含む。)	事業担当部局
9. 高齢者・障害者支援を拡充します。				
32	特別養護老人ホームの待機者ゼロを確実に進めるため、大幅なベッド増床を実施します。	1,093,860	老人福祉施設整備費補助	健康福祉部
33	福祉サービスに地域格差が生じないよう、各市町村への支援を強化します。	226,941	在宅福祉対策 ほか	健康福祉部
34	ホームヘルパーの育成を図るほか、高齢者・障害者を対象とした介護事業者の経営安定化も支援します。	502,467	介護人材確保対策 ほか	健康福祉部
35	高齢者・障害者の雇用促進のための助成を拡大します。	60,946	障害者就業・生活支援センター運営事業 ほか	健康福祉部、産業経済部、教育委員会
10. 県独自の緊急救命ネットワークを整備します。				
36	救急車などが到着するまでの間、各市町村の消防団員が救命活動を迅速にサポートする「ライフ・コール・ネットワーク」を構築します。	-	救命活動支援のあり方検討	総務部
37	消防団員が普通救命士の活動を適切に補助できるよう、短期講習で資格が取得できる「普通救命士サポーター制度」を設けます。	-	普通救命講習等の受講促進	総務部
【教育改革】 心身ともに健康な子どもに育てるために、教育現場を改革します。				
11. 生徒ひとりひとりをきめ細かくケアします。				
38	さくらプラン、わかばプランの非常勤講師を「常勤」にします。	1,354,561	小学校第1・2学年の30人以下学級編制のための教員の配置 小学校第3・4学年の35人以下学級編制のための教員の配置 ほか	教育委員会
39	県内の小学校1年生から中学校1年生まで、30人学級の早期実現をめざします。			
40	県内の小中高校すべてに、生徒の心のケアを行う新たなシステムを導入します。	312,870	スクールカウンセラーの配置 ほか	教育委員会、警察本部
12. 教育現場のレベルアップを図ります。				
41	読み、書き、考えるなどの基礎学力と、モラルやマナーなど社会人としての基本が身に付く教育を行います。	4,382	学力向上推進事業 ほか	教育委員会
42	優れた人材を確保するため、民間からの教員登用や公開授業、定期的な能力チェックなどを実施、頑張る教師を積極的に支援し、教育の質を高めます。	25,051	特別支援教育総合サポート ほか	教育委員会
43	課外授業に退職者などボランティアの協力を仰ぎ、地域との関係を強化します。	12,278	学校支援センター運営推進 ほか	教育委員会
44	家庭・学校・地域社会がコミュニケーションを図れる場をつくり、確かな信頼関係を構築します。	53,306	放課後子ども教室推進事業 ほか	教育委員会
45	「私学助成」については、公平、公正に助成を行っていきます。	8,387,720	教育振興費補助事業 ほか	総務部
46	文化教育の観点から、旧富岡製糸場の世界遺産登録に向けた活動を、なお一層強化します。	98,377	世界遺産登録推進	企画部
47	県のスポーツ水準を高め、あらゆる世代に向けてスポーツの振興を図ります。	677,877	競技力向上 ほか	教育委員会
【安全な生活】 地域社会の絆を復活させ、安心・安全なぐんまを取り戻します。				
13. 治安や災害への対応を強化します。				
48	地域の伝統・文化・風習を復活させ、人と人との絆を深め、安心な地域社会を再生します。	401,269	地域の文化支援事業 ほか	生活文化部、農政部、警察本部
49	民間ボランティアとの協力により、日常的なパトロール業務を強化します。	180,135	県民防犯推進 ほか	生活文化部、環境森林部、教育委員会、警察本部
50	AED(自動体外式除細動器)を、学校やすべての公共施設に設置します。	-	AEDトレーニングユニットによる訓練実施 ほか	健康福祉部、警察本部
51	県の防災本部と市町村役場を結ぶ緊急の連絡ネットワークなどを早急に整備します。	123,283	群馬県防災情報ネットワークシステム	総務部

目標		予算額 (単位:千円)	主な事業 (予算を伴わない事業を含む。)	事業担当部局
14. 環境問題への取り組みを充実させます。				
52	CO2やフロン等の排出削減に向け、県独自のプロジェクトチームを官民共同で立ち上げ、具体的な数値目標を盛り込んだ「群馬・温暖化防止アクションプラン」を作成・実行します。	157,055	地球温暖化防止県民アクションプラン推進 ほか	環境森林部、農政部、県土整備部
53	県の施設に、太陽光発電・バイオマス等のクリーンエネルギーを導入するほか、一般家庭への普及も促進します。	1,291,543	太陽光発電装置普及推進 ほか	企画部、環境森林部、農政部、企業局
54	産廃などの不法投棄を取り締まる厳しい監視体制を、市町村と連携して整備します。	70	不法投棄監視市町村連携 ほか	環境森林部、警察本部
もっと、経済に活力を！				
【首都圏ぐんま】 恵まれた立地条件を活かし、交通や生活の基盤をさらに整備します。				
15. 広域的な観点でインフラを整備します。				
55	北関東道・上武道路・広幹道・上信道を軸に、高速移動時代に対応しうる地域間交通網を積極的に整備します。	10,655,821	東毛広域幹線道路整備、上信自動車道整備 ほか	県土整備部、警察本部
56	光ケーブルなどの高速通信ネットワークを、2010年までに県内全域に張りめぐらせます。	-	情報通信基盤整備検討部会運営	企画部
57	地域間交流バスの路線や運行ダイヤを、利用者の視点から見直します。	228,723	市町村乗合バス振興対策 ほか	県土整備部
16. 住環境に配慮した街づくりを進めます。				
58	老朽化した公営住宅の建替えを積極的に行います。	754,613	既設県営住宅改善 ほか	県土整備部
59	上水道における石綿セメント管の布設割合は18年連続全国ワースト1。地震に弱い石綿管を铸铁管に切替えます。	19,300	災害に強い水道づくり促進費補助	健康福祉部
60	流域下水道の早期完成をめざし、関東地方では断トツでワースト1の下水道普及率を大幅に引き上げます。	4,962,996	流域下水道建設 ほか	県土整備部
61	知事公用車、県庁公用車をすべてエコカーにします。	20,657	低公害車導入	環境森林部、企業局、議会事務局、警察本部
62	長距離通勤者の増大に配慮した適切な対応を各交通機関に要請します。	263,898	中小私鉄等振興 ほか	県土整備部
63	定年を迎えた団塊世代の方々など、県外からの移住者受け入れ策を実施します。	3,606	ぐんまの山村回帰支援事業	企画部
17. 「観光立県ぐんま」を推進します。				
64	美しい景観、豊かな緑、清流や温泉などの観光資源の保護に力を入れます。	1,077,753	景観行政推進 ほか	健康福祉部、環境森林部、農政部、県土整備部
65	観光地のクリーンアップ作戦、老朽化した観光施設のリニューアルを進めます。	290,961	千客万来支援 ほか	環境森林部、農政部、産業経済部
66	4年間で県外・海外からの観光客10%アップを目標に、観光ぐんまをアピールします。	292,434	destinationキャンペーン推進 ほか	総務部、産業経済部
18. 都心に「ぐんま総合情報センター」を開設します。				
67	物産・観光・ビジネスなど県の魅力を総合的にアピールする拠点とします。	115,170	ぐんま総合情報センター運営 ほか	企画部
68	群馬県への進出企業や移住希望者のためのサポート機能も持たせます。	111,970	ぐんま総合情報センター運営 ほか	企画部

目標		予算額 (単位:千円)	主な事業 (予算を伴わない事業を含む。)	事業担当部局
【産業の振興】 中小企業の活性化、農業・林業の再生などに取り組みます。				
19. 効果的な中小企業対策を実施します。				
69	新技術の開発や事業拡大のための特別金融融資枠を設けます。	融資枠 40億円	中小企業フロンティア資金	産業経済部
70	県による融資制度や保証制度、農林業に特化した職業訓練の実施など、群馬独自の起業支援、再チャレンジ支援策を整備します。	融資枠 20億円	創業者・再チャレンジ支援資金	産業経済部
71	駅前商店街などの再開発が容易になるよう、さまざまな規制を緩和します。	-	大店立地法特例措置の運用	産業経済部
72	中小企業を経営面でサポートする、県独自の利用しやすい貸付制度を新設します。	融資枠 700億円	経営サポート資金	産業経済部
73	引きこもり学卒者の社会参加を支援する職業訓練プログラムを実施します。	9,373	ニート自立支援 ほか	産業経済部
20. たくましい地場産業を育成します。				
74	幅広い分野で、新たな上州名物、ふるさとブランドの立ち上げを支援します。	32,054	群馬のイメージアップ、物産振興対策 ほか	企画部、農政部、産業経済部
75	過疎化・高齢化で担い手が減少している地場産業の後継者育成を支援します。	28,270	地場産業総合振興対策 ほか	企画部、農政部、産業経済部
76	県の特産品や観光をアピールする拠点として「ぐんま総合情報センター」を設けます。	92,970	ぐんま総合情報センター運営	企画部
21. 農・林業新時代への対応を支援します。				
77	首都圏の台所として群を抜く野菜生産量を誇る「農林王国・群馬」。そのさらなる発展を支えるため、農林事業者への経営安定策を幅広く実施します。	890,656	「野菜王国・ぐんま」強化総合対策 ほか	環境森林部、農政部
78	大都市圏の消費者との交流事業などを積極的に進め、農産品における「群馬ブランド」の存在感をアップさせます。	827,883	農産物ブランド化推進 ほか	企画部、環境森林部、農政部
79	新規に農林業に就業する方への資金援助などを拡充し、担い手不足を解消します。	401,466	就農支援資金貸付 ほか	環境森林部、農政部
80	林業関係融資制度の対象者および限度額を、さらに拡大します。	100,000	林業後継者特別対策資金貸付	環境森林部
81	品種改良などの農業技術開発予算を、20%程度上乗せします。	89,553	ぐんまオリジナル品種早期育成研究 ほか	農政部
82	田畑を荒らす有害鳥獣については市町村と連携し、規制の緩和や捕獲支援策を充実させます。	603,365	鳥獣害防止 ほか	環境森林部、農政部
22. 県外からの企業誘致を促進します。				
83	知事として、各地の企業に積極的に働きかけ、企業誘致のトップセールスを展開します。	3,570,958 (企業局予算等)	プレゼンテーションぐんま、新規工業団地整備 ほか	企画部、産業経済部、企業局
84	補助金や税制措置などの具体的な対策で、企業誘致を確実に増やします。	309,492	企業誘致推進 ほか	産業経済部
85	道路などの社会資本を整備し、関越道、上信道、北関東道、広幹道、上武道路が縦横に走る「高速道路の交差点」としての群馬の地の利をアピールします。	9,133,733	プレゼンテーションぐんま、東毛広域幹線道路の整備 ほか	産業経済部、県土整備部